



ダイレクト
メールをもっと
安く!

主要郵送業者を徹底比較

DM 発送料金ガイド

DM SOLUTIONS 著



はじめに

皆さま、ダイレクトメール(DM)についてどのような印象をお持ちですか？

インターネット広告の発展により、オフラインの広告手法であるDMは時代遅れと思われがちですが、実は**今もなお、DMは多くの企業が利用する広告手法**なのです。

株式会社電通の市場調査によると、国内の広告市場全体の規模は2016年時点で6兆2880億円です。

そのうち、インターネット広告の市場規模は約1兆円。そして、折り込みチラシやDMの市場規模は約9000億円です。

インターネット広告に劣らず、DMや折り込みチラシという広告手法は現在も多くの企業から利用され続けていることがわかります。

では、一体どのくらいの数のDMが自宅に届いているのでしょうか。

一般社団法人日本ダイレクトメール協会の市場調査によると、一週間で平均6.6通のDMが郵便ポストに投函されているそうです。

お客様とこれだけ多くの接点を持つDMをもっと安く賢く使っていきたいですね。

そこで本書では、**主要郵送業者の料金比較や、DMでコストメリットを出すための方法**についてご紹介いたします。

目次

はじめに	01	4 郵送会社を選ぶ際のポイント	29
1 ダイレクトメールのメリット	03	5 発送代行業者の利用のすすめ	31
2 ダイレクトメールの各郵送業者について	04	6 発送代行業者を利用するメリット	33
◦ ゆうメールの特徴	05	7 発送代行業者を利用する際に注意したいポイント	35
◦ クロネコDM便の特徴	07	おわりに	37
◦ 飛脚メール便・飛脚ゆうメール便の特徴	09	ディーエムソリューションズのご紹介	38
◦ カンガルーPostalメール便の特徴	11		
3 郵送業者の比較	13		
◦ 規格・料金	14		
◦ 同梱可能なもの、送付不可能なもの	22		
◦ 配達方法・追跡番号の有無	24		
◦ 土・日・祝の配達の有無	25		
◦ 配達希望時間指定について	26		
◦ まとめ	27		

1 ダイレクトメールのメリット

DMのメリットは大きく分けて下記の3つになります。

① 新規顧客の獲得が見込める

住所や名前がわかっている人に対して直接DMを送ることができ、新規顧客の獲得に高い効果が見込めます。また、地域性のある事業（例えば飲食店など）の場合、DMの受取人の住所や名前がわからなくても、DMをポストイングするだけで新規顧客の獲得ができます。

② 見込み顧客に購入を促せる

企業の見込み顧客リストに載っている人に対してDM送ること、商品やサービスの購入を促すことが可能です。また、商品やサービスだけでなく、企業の行っている事業やイベントなどについての告知も行うことができ、そこから購入へつなげることもできます。

③ 既存顧客へリピートを促せる

既存顧客に新商品などを告知し、購入を促すことができます。Eメールでの告知する方法もありますが、迷惑メールや詐欺メールといった問題により、開封率は年々減少しています。一方で、DMは手に取る形であり、「自分のことを大切にしてくれている」と感じさせることができるため効果的な施策になります。

DMにはこのようなメリットがあります。では、次にDMを発送する際に利用する郵送業をみていきましょう。

2 ダイレクトメールの各郵送業者について

続いて以下の郵送業者の中で主要な4社について見ていきます。



[日本郵便のゆうメール]



[ヤマト運輸のクロネコDM便]



[佐川急便の飛脚メール便・
飛脚ゆうメール便]



[西濃運輸のカンガルーPostal
メール便]



▼ 見ていくポイントは下記になります。

- 各サービスの特徴
- 目安料金
- 規格サイズ
- 同梱可能なもの、送付不可能なもの
- 配達方法(ポスト投函や受領書はあるのか)
- 追跡番号有無
- 配達希望時間の指定
- 土日祝日の配達有無

2 ダイレクトメールの各郵送業者について - ゆうメールの特徴

日本郵便でDM発送を行う場合、大きく分けて5つの形態があります。

定形郵便、定形外郵便規格内、定形外郵便規格外、ゆうメール規格内、ゆうメール規格外

上記の5つのうち、ハガキや長3サイズに収まるDMは定形郵便となります。そして例えばA4サイズといった一般的な形のDMは定形外郵便もしくは、ゆうメールとなります。この2つにも規格内と規格外というサイズがあり、それぞれ料金が異なるので注意しましょう。

規格サイズ

ゆうメール規格内	長辺34cm以内×短辺25cm以内×厚さ3cm以内、重さ1kg以内	ゆうメール規格外	長辺+短辺+厚さの合計が170cm以内、重さ3kg以内
定形外郵便規格内	同上	定形外郵便規格外	長辺+短辺+厚さの合計が90cm以内、重さ4kg以内

料金

重量	ゆうメール規格内	定形外郵便規格内	ゆうメール規格外	定形外郵便規格外
50g以下	180円	120円	265円	200円
100g以下	180円	140円	265円	220円
150g以下	180円	205円	265円	290円
250g以下	215円	250円	305円	340円
500g以下	300円	380円	400円	500円
1kg以下	350円	570円	450円	700円
2kg以下	取り扱いなし	取り扱いなし	560円	1,020円
3kg以下	取り扱いなし	取り扱いなし	710円	1,330円
4kg以下	取り扱いなし	取り扱いなし	取り扱いなし	1,330円

2 ダイレクトメールの各郵送業者について - ゆうメールの特徴

送付できるもの

- 書籍、雑誌、カタログ、会報、各種マニュアル類
- CDやDVDなどの電磁的記録媒体
- コイル状の金具でとじたカレンダーなど
- 冊子を筒状にして梱包しても送付可能

同梱できるもの

- 付録（付録は内容物よりも軽いものである必要があり、同封する際は、内容物のタイトルと「付録」と記載する必要があります。）
- 注文用の払い込み用紙、返信に必要な事項を記載した用紙（申し込み用紙やアンケート用紙などに当たります。）
- 返信用はがきや封筒
- 注文を促すための商品見本（「見本」「サンプル」「試供品」のうちのいずれかの文字を記載したものに限りです。）
- 上記のほかに注文または返信を促すためのもの、その他これに類するもの
（割引券、クーポン券、記念品贈呈券、駐車券、昼食券、申し込み用紙への記入のためのボールペンなどがこれに当たります。）

送付不可なもの

- 信書 ただし、内容物に関する簡単な挨拶状や、請求書の無封の添え状や送り状は送れます。
- 印刷を利用していないもの 手書きの紙などは送れません。

規格	配達方法	追跡番号
規格内	ポスト投函	無
規格外	ポスト投函or受取人に直接配達	無



- 1 日本郵便は基本的に日・祝の配達がなく、追跡番号はつかない。
- 2 「ゆうメール」表記を一通一通に記載する必要があるなど細かい点があるので、ゆうメールを利用する際は、基本的に郵便局に問い合わせを行った方が良い。

2 ダイレクトメールの各郵送業者について - クロネコDM便の特徴

規格サイズ

- 11.5cm×23cm以上のものであること
- 厚さが2cm以内であること
- 長辺+短辺+厚さの合計が60cm以内であること
- 重量が1kg以内であること
- 最長辺が34cm以内であること

料金

発送個数、荷物の規格などによって変動。最大で1個164円になります。

※全国一律、発送個数、重量、距離によって上下します。

送付不可なもの

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">• 有価証券
(現金、小切手、手形、株券、その他の有価証券など)• クレジットカードやキャッシュカードなどのカード類• 再発行が困難な受験票、パスポート、車検証類• 再生不可能な原稿、原図、テープ、フィルム類
(CDやDVD、テープ、フィルム類などはコピーできるものであれば可)• 犬、猫、小鳥などのペット類• 毒物および劇薬物類 | <ul style="list-style-type: none">• 遺骨、位牌、仏壇• 銃砲刀剣• 火性、引火性、揮発性のある物品または火薬類
(花火、ガスボンベ、灯油、シンナーなど)• 一梱包の価格が30万円を超える荷物
(ヤマト便なら送付可能)• 不潔な物品など、ほかの荷物に損害を及ぼす恐れのある荷物• 信書、その他法令の規定や公序良俗に反するもの |
|--|--|

2 ダイレクトメールの各郵送業者について - クロネコDM便の特徴

事柄	詳細
配達方法	ポスト投函（ポストに入らない場合は直接に切り替え）
追跡番号	有（発送、投函完了のみ）
配達指定日時	土・日・祝の配達可 時間指定不可
受領書	無
送り状	集荷時に必要（送り状発行システムB2クラウドが便利）

補足情報

- 送り状はコンビニやヤマト運輸の店舗などでももらえる
- 受取人の住所に表札がない場合は送り返される可能性が高い
- ヤマト運輸と契約をしていれば掛売ができるので便利
- 400km圏内で翌々日、400km以上で4日目（土日祝も含む）

POINT

- ① 60サイズ以下で200g～1kgの間の重量のDMの場合、他の3社に比べて最安値。
- ② ヤマト運輸は、日・祝の配達も行っており、配達スピードも他の3社に比べ最速。
- ③ 追跡番号が付いており、オンライン上で確認することが可能。
- ④ ヤマト運輸と契約すれば、ヤマト運輸のサイト上で無料クラウドサービスを利用可能。
このクラウドサービスを利用すれば、簡単にお手持ちのリストを宛名ラベルにできる。

2 ダイレクトメールの各郵送業者について - 飛脚メール便・飛脚ゆうメール便の特徴

規格サイズ

飛脚メール便	飛脚ゆうメール
• 長辺+短辺+厚さの合計が70cm以内であること • 最長辺が40cm以内であること • 厚さが2cm以内であること • 重量が1kg以内であること	• 長辺34cm以下×短辺25cm以下×厚さ3.5cm以下 • 重量が3kg以内であること

料金

重量	飛脚メール便	飛脚ゆうメール
200g以下	—	113円
300g以下	165円	—
500g以下	—	165円
600g以下	216円	—
1kg以下	319円	293円
2kg以下	—	324円
3kg以下	—	448円

飛脚メール便で入れられないもの

- 信書、現金、小切手、再発行困難、および再生不可能なもの
- 危険物（毒物や引火性、着火性、揮発性のあるもの）
- 貨幣や有価証券など代替品がないもの
- クレジットカード、キャッシュカードなどのカード類
- 個人情報や高額品など

※飛脚ゆうメール便に入れられるもの、入れられないものについては、日本郵便のゆうメールと同じになりますのでこちらをご確認ください。

2 ダイレクトメールの各郵送業者について - 飛脚メール便・飛脚ゆうメール便の特徴

事柄	詳細
配達方法	ポスト投函
追跡番号	有(直接店舗に問い合わせることでのみ可能)
配達指定日時	土・日・祝の配送可(ゆうメール便は土のみ配送可) 時間指定不可
受領書	無
送り状	集荷時に必要(自社で扱う送り状のラベルでも問題なし)
個人事業主	不可
支払い	後納のみ

補足情報

- 受取人の住所に表札がない場合は送り返される可能性が高い
- 飛脚メール便は3～4日程度で配送(土日祝含む、一部地域を除く)
- 送り状は佐川の店舗やドライバーからもらえる
- 飛脚ゆうメール便は5日程度(日祝は含まれない) → 基本1週間程度
- 法人のみの取り扱いで掛売しかできない
- ※天候や地域によっては飛脚メール便でも1週間程度かかる場合がある



- ① 飛脚ゆうメール便は、日本郵便のゆうメールを利用した配達となり、その配達依頼を佐川急便が代行するサービス。
- ② 飛脚メール便、飛脚ゆうメール便共に注意が必要なのは、「法人」でしか契約ができない。
- ③ 追跡番号がない。
- ④ 飛脚メール便には、CDやDVDといった電磁記録媒体が入れられなく、送る際には飛脚ゆうメール便の取扱になる。

2 ダイレクトメールの各郵送業者について - カンガルーPostalメール便の特徴

規格サイズ

- 長辺36cm以内
- 短辺25cm以内
- 厚さ3.5cm以内
- 重さ3kg以内

料金

法人、内容物、重量、個数、加工作業によって変動するため一律で定められた料金規定はありません。

入れられるもの	入れられないもの
• カタログ、パンフレット、書籍、雑誌などの印刷媒体 • 見本品、サンプル、付録など • CDやDVDなどの電磁記録媒体	• 賞状、請求書、納品書などの信書類

2 ダイレクトメールの各郵送業者について - カンガルーPostalメール便の特徴

事柄	詳細
配達方法	ポスト投函(ポストに入らない場合は直接受け渡し)
追跡番号	無
配達指定日時	日・祝配達不可 時間指定不可(日数は2~3週間を目途に)
受領書	無
送り状	集荷時に必要(自社で扱う送り状のラベルでも問題なし)
個人事業主	必要なし(西濃運輸が代行するため)



- ① DMの折り込み作業や封入、宛名ラベルの作成といった加工作業、在庫の管理、発送依頼の代行といったDM発送に関する業務を代行してくれるサービス。発送は日本郵便サービスの「ゆうメール」となるので、規格規定などもゆうメールに合わせて制作する必要がある。
- ② 日本郵便と大口顧客契約を結んでいるため、配送自体にかかるコストはゆうメールよりも安くなるが、加工処理や発送依頼代行、管理などを行ってもらうため、こちらの費用もかかり、ゆうメールを直接利用するよりも高くなることが多い。
- ③ 発送時には、西濃運輸から日本郵便に直接依頼するのではなく、「トータルメディアシステム」と「PDM」という2つの会社を経由する必要がある、その分コストと時間がかかる。
- ④ 事前作業の内容次第だが、配達までににかかる時間は概ね2~3週間程度。

3 郵送業者の比較

各企業の特徴について見てきましたが、続いてそれぞれの企業を下記の内容から比較してみましょう。

- ① 規格と料金
- ② 同梱可能なもの、送付不可能なもの
- ③ 配達方法
- ④ 追跡番号の有無
- ⑤ 土・日・祝の配達の有無
- ⑥ 配達希望時間指定について



3 郵送業者の比較 - 規格・料金

各サービスの規格を比較すると以下になります。

日本郵便	ゆうメール規格内	長辺34cm以内×短辺25cm以内×厚さ3cm以内、重さ1kg以内
	定形外郵便規格内	同上
	ゆうメール規格外	長辺+短辺+厚さの合計が170cm以内、重さ3kg以内
	定形外郵便規格外	長辺+短辺+厚さの合計が90cm以内、重さ4kg以内
ヤマト運輸	クロネコDM便	11.5cm×23cm以上のものであること - 長辺+短辺+厚さの合計が60cm以内であること - 最長辺が34cm以内であること - 厚さが2cm以内であること - 重量が1kg以内であること
佐川急便	飛脚メール便	- 長辺+短辺+厚さの合計が70cm以内であること - 最長辺が40cm以内であること - 厚さが2cm以内であること - 重量が1kg以内であること
	飛脚ゆうメール	- 長辺34cm以下×短辺25cm以下×厚さ3.5cm以下 - 重量が3kg以内であること
佐川急便	カンガルーPostalメール便	- 長辺36cm以内×短辺25cm以内×厚さ3.5cm以内 - 重量3kg以内

規格によって料金が変わってくるだけでなく、満たさないと郵送できない場合もありますので、まずは規格サイズをきちんと確認しましょう。

3 郵送業者の比較 - 規格・料金

ゆうメール

重量	ゆうメール規格内	定形外郵便規格内	ゆうメール規格外	定形外郵便規格外
50g以下	180円	120円	265円	200円
100g以下	180円	140円	265円	220円
150g以下	180円	205円	265円	290円
250g以下	215円	250円	305円	340円
500g以下	300円	380円	400円	500円
1kg以下	350円	570円	450円	700円
2kg以下	取り扱いなし	取り扱いなし	560円	1,020円
3kg以下	取り扱いなし	取り扱いなし	710円	1,330円
4kg以下	取り扱いなし	取り扱いなし	取り扱いなし	1,330円

クロネコDM便

発送個数、荷物の規格などによって変動するため価格表がありません。なお、最大で1個164円になります。

飛脚メール便

※飛脚メール便は大量送付で割引ができます。 ※飛脚ゆうメール便は一律で割引がききません。

重量	飛脚メール便	飛脚ゆうメール
200g以下	—	113円
300g以下	165円	—
500g以下	—	165円
600g以下	216円	—
1kg以下	319円	293円
2kg以下	—	324円
3kg以下	—	448円

カンガルーPostalメール便

法人、内容物、重量、個数、加工作業によって変動するため価格表がありません。

3 郵送業者の比較 - 規格・料金

カンガルーPostalメール便は、日本郵便と大口顧客契約をしているので、ゆうメールよりも「配送」にかかるコストは安くなりますが、荷物の加工や管理などにコストがかかるため、ゆうメールよりも高額になることが多いです。

これらのことから、DMを発送するのに利用するのは基本的に日本郵便のゆうメール、ヤマト運輸のクロネコDM便、もしくは佐川急便の飛脚ゆうメール便の3つということになります。



- ① クロネコDM便とカンガルーPostalメール便は、決まった価格表がない。
- ② カンガルーPostalメール便は、配送コストは安くなるが、荷物の加工や管理などでコストがかかる。

また、DM発送の際にはゆうメールとクロネコDM便をそれぞれ利用することが多いので、この2つのサービスについてサイズや部数、エリアから見た料金の比較を見ていきましょう。

3 郵送業者の比較 - 規格・料金

ゆうメールとクロネコDM便を重量で比較した際の料金は以下になります。

重量	ゆうメール規格内	ゆうメール規格外	クロネコDM便
50g以下	180円	265円	164円以下
100g以下	180円	265円	164円以下
150g以下	180円	265円	164円以下
250g以下	215円	305円	164円以下
500g以下	300円	400円	164円以下
1kg以下	350円	450円	164円以下
2kg以下	取り扱いなし	560円	取り扱いなし
3kg以下	取り扱いなし	710円	取り扱いなし

3 郵送業者の比較 - 規格・料金

150g以下の場合

部数	ゆうメール規格内	ゆうメール規格外	クロネコDM便
1,000	180,000円	265,000円	164,000円以下
3,000	540,000円	795,000円	492,000円以下
4,000	900,000円	1,325,000円	820,000円以下
10,000	1,800,000円	2,650,000円	1,640,000円以下
50,000	9,000,000円	13,250,000円	8,200,000円以下

250g以下の場合

部数	ゆうメール規格内	ゆうメール規格外	クロネコDM便
1,000	215,000円	305,000円	164,000円以下
3,000	645,000円	915,000円	492,000円以下
4,000	1,075,000円	1,525,000円	820,000円以下
10,000	2,150,000円	3,050,000円	1,640,000円以下
50,000	10,750,000円	15,250,000円	8,200,000円以下

500g以下の場合

部数	ゆうメール規格内	ゆうメール規格外	クロネコDM便
1,000	300,000円	400,000円	164,000円以下
3,000	900,000円	1,200,000円	492,000円以下
4,000	1,500,000円	2,000,000円	820,000円以下
10,000	3,000,000円	4,000,000円	1,640,000円以下
50,000	15,000,000円	20,000,000円	8,200,000円以下

1kg以下の場合

部数	ゆうメール規格内	ゆうメール規格外	クロネコDM便
1,000	350,000円	450,000円	164,000円以下
3,000	1,050,000円	1,350,000円	492,000円以下
4,000	1,750,000円	2,250,000円	820,000円以下
10,000	3,500,000円	4,500,000円	1,640,000円以下
50,000	17,500,000円	22,500,000円	8,200,000円以下

3 郵送業者の比較 - 規格・料金

表からわかる通り、**1kg以下のDMの場合、ゆうメールよりもクロネコDM便のほうが圧倒的に価格が抑えられる**ことがわかります。特に、重量が1kgに近づけば近づくほど、その差は顕著になります。これは、クロネコDM便が、1kg以下であれば一律で上限金額が164円に設定してあるためです。

また、クロネコDM便は「上限金額」が164円なのであって、発送個数や重量によってもこの価格からさらに割引が適用されます。もちろん、ゆうメールも大口顧客契約で、1000部以上の発送で割引が適用されることもありますが、これらを考慮してもクロネコDM便のほうがよりリーズナブルであると言えます。

つまり、**DMを作成する際は、クロネコDM便の規格に合わせて作成することが価格を抑える重要なポイント**とも言えます。

例外的には、200g以下のDMで佐川急便の飛脚ゆうメール便を利用する方法です。こちらは一個当たりが113円まで抑えられるので、もし200g以下のDMであればそちらも検討すると良いでしょう。

また、**両サービスともに、全国一律での料金設定**となっているため、例えば都内から都内へ配達依頼をした場合と、都内から沖縄へ配達した場合の料金は同じです。ただし、日本郵便は基本的に日・祝の配達は行われません。

配達スピードにおいては4社の中で最も速いのはヤマト運輸です。日本郵便の場合、基本的に5日程度は配達にかかりますが、ヤマト運輸の場合、400km圏内であれば3日程度、400km以上離れた場所でも4日程度で配達されます。

また、日本郵便で5日の間に日・祝が挟まれる場合、営業がストップするため、基本的には1週間程度かかるものとおいておいたほうが良いでしょう。



- ① 1kg以下のDMの場合、クロネコDM便が価格が抑えられる。
- ② ゆうメールとクロネコDM便ともに全国一律料金。

3 郵送業者の比較 - 規格・料金

DMのメリットは大きく分けて下記の3つになります。

サイズ	東京→東京	東京→北海道
日本郵便のゆうパック		
60	800円	1,280円
80	1,010円	1,500円
100	1,260円	1,730円
140	1,750円	2,220円
ヤマト運輸のヤマト宅急便		
60	907円	1,339円
80	1,123円	1,555円
100	1,361円	1,793円
140	1,814円	2,246円
佐川急便の飛脚宅配便		
60(2kg以下)	756円	1,188円
80(5kg以下)	1,026円	1,458円
100(10kg以下)	1,361円	1,793円
140(20kg以下)	1,815円	2,247円
西濃運輸のカンガルーミニ便		
60(2kg以下)	830円	1,310円
70(5kg以下)	1,070円	1,540円
100(10kg以下)	1,310円	1,780円
130(20kg以下)	1,430円	1,900円

DMを送る際、先ほど説明した配送サービスでは送ることができないサイズのを配達しようとしたときの料金比較も行ってみましょう。

東京都内から東京都内へ発送した場合と、東京から北海道に発送した場合の料金、また、サイズは60、80(西濃運輸のみ70)、100、140(西濃運輸のみ130)の4つのサイズで比較しました。

※表中のサイズは荷物の長辺、短辺、厚さの合計値です。

※ゆうパックとヤマト宅急便は一律で25kg以下の重量となっております。

基本的に最安値なのは**佐川急便の飛脚宅配便**ですが、佐川急便と西濃運輸はサイズごとに重量の規定があるため、**場合によってはゆうパックかヤマト宅急便を利用するほうが良い**場合もあります。

また、西濃運輸のカンガルーミニ便は、集荷ではなく**持ち込みをすること**で、**一個当たり100円の割引がきく**ようなので、こちらも考慮に入れて考える必要があります。

ただし、これらのサービスをDM配送に利用する機会はそうないので、あくまでも参考までにこういったサービスがあるということを覚えておき、必要な際に利用するようにしましょう。

3 郵送業者の比較 - 規格・料金

料金を比較する際には下記のポイントも抑えておきましょう。



- ① ハガキDMは、日本郵便のみの取り扱い。
- ② 飛脚ゆうメール便は、佐川運輸が日本郵便のゆうメールを代行するサービス。
- ③ カンガルーPostalメール便は、西濃運輸が日本郵便のゆうメールを代行するサービス。

つまり、**佐川急便の飛脚ゆうメール便、西濃運輸のカンガルーPostalメール便は、ともに日本郵便のゆうメールを利用し、その発送依頼を代行してもらうサービス**ということです。

そのため、**直接的な依頼先企業が発送もワンストップで行うサービスは、「日本郵便のゆうメール」「ヤマト運輸のクロネコDM便」「佐川急便の飛脚メール便」の3つとなります。**

これらを踏まえた上で、各社の規格と料金を比較すると、以下のようなことが言えます。



- ① ハガキのDMは日本郵便のみでしか取り扱いえない。
- ② 最も大きなサイズは直接日本郵便を利用した際の「ゆうメール規格外」。
- ③ 200g以下で、ゆうメールを利用する場合、佐川急便を介すと最安値になる。
- ④ 200g～1kgの範囲のA4サイズのDMであればクロネコDM便が最安値となる。

次に同梱可能なもの、送付不可能なものについてみていきましょう。

3 郵送業者の比較 - 同梱可能なもの、送付不可能なもの

基本的には4社ともにあまり変わりません。そのため、参考にするとわかりやすい送付・同梱可能なものについては「ゆうメール」、不可能なものについては「クロネコDM便」を見ていきましょう。

ゆうメール	クロネコDM便
送付できるもの	入れられないもの
- 書籍、雑誌、カタログ、会報、各種マニュアル類 - CDやDVDなどの電磁的記録媒体 - コイル状の金具でとじたカレンダーなど - 冊子を筒状にして梱包しても送付可能	- 有価証券 (現金、小切手、手形、株券、その他の有価証券など) - クレジットカードやキャッシュカードなどのカード類 - 再発行が困難な受験票、パスポート、車検証類 - 再生不可能な原稿、原図、テープ、フィルム類 (CDやDVD、テープ、フィルム類などはコピーできるものであれば可) 犬、猫、小鳥などのペット類 - 毒物および劇薬物類 - 遺骨、位牌、仏壇 - 銃砲刀剣 - 火性、引火性、揮発性のある物品または火薬類 (花火、ガスボンベ、灯油、シンナーなど) - 一梱包の価格が30万円を超える荷物 (ヤマト便なら送付可能) - 不潔な物品など、ほかの荷物に損害を及ぼす恐れのある荷物 - 信書、その他法令の規定や公序良俗に反するもの
同梱できるもの	
- 付録 (付録は内容物よりも軽いものである必要があり、同封する際は、内容物のタイトルと「付録」と記載する必要があります。) - 注文用の払い込み用紙、返信に必要な事項を記載した用紙 (申し込み用紙やアンケート用紙などに当たります。) - 返信用はがきや封筒 - 注文を促すための商品見本 (「見本」「サンプル」「試供品」のうちのいずれかの文字を記載したものに限ります。) - 上記のほかに注文または返信を促すためのもの、その他これに類するもの (割引券、クーポン券、記念品贈呈券、駐車券、昼食券、申し込み用紙への記入のためのボールペンなどがこれに当たります。)	
送付不可なもの	
- 信書 ただし、内容物に関する簡単な挨拶状や、請求書の無封の添え状や送り状は送れます。 - 印刷を利用していないもの 手書きの紙などは送れません。	

3 郵送業者の比較 - 同梱可能なもの、送付不可能なもの

ゆうメールとクロネコDM便には、このような規定があるのですが、その他の2社に関しても概ねこれらと一致します。また、**佐川急便の飛脚ゆうメール便と西濃運輸のカンガルーPostalメール便に関しては、配送サービス自体は日本郵便のゆうメールなので、ゆうメールの規定に従う必要があります。**

信書や危険物などのように、明らかにDMに入れるものではないものは入れられず、カタログ冊子や申し込み用紙、クーポン、サンプルなどは入れられるということです。

この項目で、唯一例外として注意したいのが、「**佐川急便の飛脚メール便**」には**CDやDVDのような電磁記録媒体が入れない**ということです。CDなどを同梱するDMが増加傾向にあるのですが、このようなものを同梱する場合は、ゆうメール、クロネコDM便、飛脚ゆうメール便、カンガルーPostalメール便を利用する必要がありますということを覚えておきましょう。



3 郵送業者の比較 - 配達方法・追跡番号の有無

次に配達方法と追跡方法について見ていきましょう。

配達方法

配達方法は4社の全てのサービスともに、**ポスト投函**となります。また、ポスト投函なので、受領印はもらえません。また、**表札がない場合などは未達**となり、**荷物が送り返されることもある**ので注意が必要です。

追跡番号

基本的に配達中の荷物の**追跡番号を自社で検索できるのはクロネコDM便のみ**です。

また、佐川急便の飛脚メール便はWeb上の追跡はできませんが、直接問い合わせをすることで問い合わせ時点での荷物の所在地はわかります。

ゆうメールの場合、オプションで「特定記録」というサービスを付けることができますが、一通あたり160円のコストがかかります。300通以上同時に発送する場合は一通あたり149円になりますが、高額なサービスなのであまりおすすめはできません。

また、飛脚ゆうメール便、カンガルーPostalメール便は配達が日本郵便のゆうメールというサービスに当たりますが、これらのオプションを利用することはできません。

これらのことから、**追跡番号という点についてはヤマト運輸のクロネコDM便が最も便利**ということになります。

3 郵送業者の比較 - 土・日・祝の配達の有無

次に土・日・祝の配達について見ていきましょう。

土・日・祝の配達

日本郵便のゆうメールは基本的に日・祝以外の日は配達があります。

飛脚ゆうメール便、カンガルーPostalメール便も、配達サービスがゆうメールなので、同様のことが言えます。

クロネコDM便と飛脚メール便は土・日・祝も休まず配達営業日となっているので、配達スピードはこの2つのサービスが最速となります。

クロネコDM便は400km圏内であれば、3日程度、400km以上離れた場所であれば4日程度で到着します。

飛脚メール便はおおむね3～5日程度で一部地域を除く場所に配達が完了します。

ただし、天候などにも左右されるので、あくまでも目安として考えておくのが良いでしょう。

また、ゆうメールは基本的に日・祝の配達がないので、発送から約1週間程度で到着することもあり、こちらは飛脚ゆうメール便も同様のことが言えます。

しかし、西濃運輸のカンガルーPostalメール便はそもそもサービスが荷物の封入や管理、発送依頼代行といったサービスで、発送時には西濃運輸以外の会社も経由するため、配達にかかる日数は4社のうちで最も長くなります。

事前作業の内容次第ではありますが、概ね2～3週間程度を目安としておきましょう。

つまり、**配達にかかる日数や土・日・祝の配達を考慮すると、クロネコDM便が最も効率的**と言えます。

3 郵送業者の比較 - 配達希望時間指定について

配達希望時間指定

今回挙げているすべてのサービスは「ポスト投函」のため、配達希望時間の指定は4社とも不可能となっています。そのため、このポイントでの比較はできません。



3 郵送業者の比較 - まとめ

以上の比較をまとめると下記ようになります。

ただ配送料金が安いという理由で業者選定をしてしまうと、追跡ができない・土日配送ができないなどありますので注意しましょう。

事柄	日本郵便	ヤマト運輸	佐川急便	西濃運輸
事業形態・契約	法人・個人可	法人・個人可	法人のみ	法人のみ
配達方法	ポスト投函	ポスト投函	ポスト投函	ポスト投函
受領印	無	無	無	無
配達日時指定	不可	不可	不可	不可
土・日・祝の配達	日・祝不可 (オプションで可能)	可能	可能 (飛脚ゆうメール便は不可能)	不可
送り状	自社での作成・郵便局窓口での 作成が可能	クラウドサービスで 作成・手書きの両方が可能	自社での作成・佐川急便の 代行の両方が可能	西濃運輸が代行
追跡番号	無	有	無	無
支払い	現金・別納・切手・後納	現金・後納	後納	後納
配達速度	1週間程度	400km圏内で3日・ 400km以上で4日程度	飛脚メール便で3～5日・ 飛脚ゆうメール便で1週間程度	2～3週間程度(加工含む)

3 郵送業者の比較 - まとめ

今までのポイントを全て比較し、用途別に考えてみると、利用すべきサービスは以下のようになります。

目的	業者名
200g以下のA4サイズのDM	日本郵便のゆうメール
200g～1kgのA4サイズのDM	クロネコDM便
1kg～3kgの間のA4サイズのDM	飛脚ゆうメール便
なるべく速く配達してほしいDM	クロネコDM便
電磁記録媒体が入ったDM	クロネコDM便、飛脚ゆうメール便
荷物の追跡ができるDM	クロネコDM便
封入や管理などの作業を代行してほしいDM	カンガルーPostalメール便

比較検証を行った結果、上記のような用途別に分けることができます。そして、**4社のサービスのうち、最も使い勝手が良いのはヤマト運輸のクロネコDM便**だと言えるでしょう。

4 郵送会社を選ぶ際のポイント

ここまで4社のDM発送サービスについて比較してきましたが、各企業のポイントをご紹介します。

① ハガキ、長3サイズなどの定形サイズは日本郵便

日本郵便を利用するメリットはハガキDMのみとなります。理由は、これらのサイズのDMは他の配送会社では取り扱いえないものであり、他のサイズ(A4サイズなど)のDMはクロネコDM便もしくは、飛脚ゆうメール便のほうがコストが抑えられるためです。

② A4サイズで200g～1kgのDMはヤマト運輸

ヤマト運輸のクロネコDM便は他の3社と比べて、最もDMに向いているサービスとなります。一般的なA4サイズのDMはたいていの場合、50g～1kgの範囲に入ります。その範囲の中でも、カタログ冊子などを封入するDMは200gを超えることがほとんどで、このタイプのDMを発送するのに一番安上がりなのがクロネコDM便です。また、配達スピードも最速で、追跡番号などもあるので、最も使い勝手が良いサービスと言えます。

4 郵送会社を選ぶ際のポイント

③ A4サイズで200g以下、もしくは1kg～3kgのDMは佐川急便

佐川急便を利用する場合、飛脚メール便よりも、飛脚ゆうメール便を利用するほうがメリットがあります。飛脚ゆうメール便は200g以下、もしくは1kg～3kgのA4サイズDMを送る際に最安値となります。直接日本郵便でゆうメールを利用するよりも安く、200g以下の場合クロネコDM便よりも安くなるので大変お得です。A4サイズで薄めの冊子を入れたDMも一般的によく見られる形で、これらは200g以下に該当することが多いので、こちらも利用頻度が高めのサービスとなります。

④ 加工処理や管理を代行してほしい場合は西濃運輸

西濃運輸のカンガルーPostalメール便を利用するのは、上述した通り、加工や封入、管理、発送依頼の代行を行ってほしい場合のみとなります。他の配送会社でも宛名処理や折り込み作業などを代行してもらうサービスもあるのですが、管理なども行ってもらえるのは4社の中では西濃運輸だけです。ただし、料金と配達スピードにデメリットが生じるので、あくまでも自社でできない場合のみ、利用するのが望ましいと言えるサービスです。

5 発送代行業者の利用のすすめ

ここまででDMを利用するメリットや、4つの主要郵送会社のサービスのメリット・デメリットの比較を理解されたと思いますので、ここからは、さらにお得に楽にDMを発送する手段として「発送代行業者」について解説していきます。

発送代行業者とは

発送代行業者とは簡単に説明すると、西濃運輸のカンガルーPostalメール便のような発送に関するサービスに加えてDMの印刷などを行う専門業者のことです。また、中にはDMのデザインや企画段階から関わる業者もあります。

つまり、DMの制作から発送まで全てをコントロールしてくれる業者ということになります。

発送代行業者に行ってもらえるサービスを説明すると次のページのような内容になります。



5 発送代行業者の利用のすすめ



マーケティング

DMに同梱するものや、DMの発送コストを削減するための提案を行います。



発送ルート提案

各社契約している配送会社などから、DMごとに最適な業者を選択し、ルートを決定します。



デザイン提案・制作

DMのデザイン、封筒のデザインなどを提案し作成します。



印刷

DMや封筒のデザインを作成後、発送部数に応じて印刷を行います。



データ加工

宛名データを取得し、発送で利用する配送会社に応じたデータ加工を行い、ラベルデータを作成します。



作業

宛名ラベルの出力、貼り付け、封入、封緘、区分仕分け、梱包等の発送準備作業を行います。



保管・管理

封筒や資材などを保管し、在庫管理などを行います。

このような7つの項目を代行してくれるのが発送代行業者です。また、7つの項目のうち、自社で行う項目と代行してもらう項目を分けて行ってもらえるのもこういった業者ならではのメリットです。

例えば、マーケティングやデザインは自社で行うが、他の発送作業に関しては代行してもらうといったこともできます。

これらは発送代行業者と契約すれば柔軟に対応してもらえるので便利です。

6 発送代行業者を利用するメリット

発送代行業者を利用するメリットは以下の5つです。

① 発送のコスト削減

直接配送会社を利用するよりも料金が安く発送できます。これは発送代行業者が各配送会社と大口顧客契約が発生しているためです。発送費のコストが削減できるので、浮いた料金を他の作業代行に充てることができます。

② 人件費削減

例えば印刷、封入やラベル貼り、データの管理といったDM発送にかかる作業を自社で全て行くと莫大な人件費が発生します。DMを発送するだけで発送費はかかるのですが、それ以外の見えない人件費も発生しており、これらの作業を発送代行業者が代行すれば、人件費も削減しながらDMの発送を行うことができます。

③ 業務効率化

自社で行ったほうが良い作業、自社で行うと時間と人件費がかかる作業などを発送代行業者に説明してもらい、一定の作業を代行してもらう事で、自社で行うべき業務が効率化でき、発送完了までにかかる時間も削減できます。

6 発送代行業者を利用するメリット

④ 依頼業者を分けずに済む

デザイン、印刷、作業、発送の全てを代行してもらえるため、複数の業者に依頼して時間とコストが余計にかかる心配がありません。また柔軟に、部分的な代行に応じてもらえるため、自社で行う部分と代行業者に行ってもらえる部分を1つの業者と契約するだけで全て手配できるので便利です。

⑤ 作業スペース・保管スペースを確保する必要がない

DMの制作、発送には広いスペースが必要になります。例えば、デザインや制作をするチームの作業スペース、印刷を行い封入するスペース、ラベル出力をするスペース、出来上がったDMをチェックするスペース、さらに、DMを保管するスペース、とかなり広いスペースの確保が必要ですが、代行業者に依頼すれば、業者の会社で行ってもらえるため、自社にスペースを確保する必要がありません。

このように、発送代行業者を利用すると、より効果的なDMが制作でき発送してもらえるといったことだけではなく、DMの制作や発送の作業をより効率的にし、人件費を削減し、スペースの提供も行ってもらえることができるというメリットがあります。

また、上記のように複合的なメリットが多いので、DMを制作するのであれば、一度発送代行業者に相談してみるのも1つの手段と言えるでしょう。

7 発送代行業者を利用する際に注意したいポイント

上記のようなメリットのある発送代行業者ですが、業者の数も多くなってきており、中には悪徳な業者もいるので注意が必要です。特に、マーケティングが適当であったり、作業スピードが遅い業者、また、ろくに説明をせずに契約させようとする業者などには気を付けましょう。

このような業者と契約してしまわないように、発送代行業者を利用する際に注意したいポイントを6個挙げておきますので参考にしてください。

① 場所

オンラインで申し込みなどが簡単にできてしまう昨今なので、特に気を付けないといけないポイントは代行業者の所在地です。マーケティングやデザイン、加工、発送を行ってもらうにあたり、打ち合わせなどを頻繁に行う必要があります。もちろん、打ち合わせは業者に来てもらえば良いのですが、遠方から来られるとなると、緊急時の対応がどうしても遅くなります。また出張費がかかる可能性もあります。そのため、できるだけ近くの発送代行業者に依頼するのが鉄則です。

② 営業の対応能力

営業担当者の対応能力でその業者の力がある程度推察できます。例えば説明が不十分で理解ができないのに契約の話などに移行するような担当者の場合、その企業自体に問題がある場合が多いです。丁寧にわかりやすく説明してくれる担当者で、なおかつ、自社にとってのメリット・デメリットを偽りなく説明してくれる業者を選びましょう。特に、デメリットは言いにくい部分でもあるのですが、逆に言えば、それを伝えてくれる業者は信頼できると言えるでしょう。

7 発送代行業者を利用する際に注意したいポイント

③ 対応できる作業の内容

発送代行業者と言っても、できる作業内容には業者ごとにばらつきがあります。上述した7項目のうちどの部分を代行してほしいかをある程度決定しておき、それに正確に対応してもらえるのかを尋ねましょう。もし、行ってほしい作業内容が対応してもらえない場合はその代行業者とは契約をしないほうが良いでしょう。

④ 金額

金額については代行する内容によって違いますが、発注前の段階で、代行してもらう作業内容の1つ1つの見積もりを正確に出してもらいましょう。また、他の代行業者の金額などもサイトを見ればある程度わかるので、それらも把握したうえで見積もりを見てください。もし、明らかに高い金額を提示された場合は、一度そのことについて問いただしても良いですが、そういった業者は悪徳な可能性が高いので、発注をあきらめたほうが良いでしょう。

⑤ 出荷量の変動への対応

シーズンや顧客の増減など、様々な問題によってDMの出荷量変動することが多いです。しかし、最初の契約時に決められた出荷量でしか発送できないといったトラブルも実はよく起こります。ですので、出荷量変動可能かどうかは契約前に必ず確認するようにして、柔軟な販促が行えるようにしておきましょう。

⑥ セキュリティ

最後にセキュリティ関係になりますが、送付先情報は重要な個人情報にあたります。これらの対策を自社で行わず、他社に管理代行させている場合、トラブルが発生した際に対応が遅れます。ですので、こういったセキュリティを自社で行っている企業かどうかチェックするようにしましょう。また、倉庫のセキュリティについても同様で、監視が行き届いているのかもできるだけチェックしましょう。

おわりに

DMは、ターゲットを明確にした戦略を取ることで、効果が大きく変わります。企画の段階で、「誰に」「何を」「どのようなデザインで」伝えるのかをしっかりと設計してから、制作に入りましょう。

しかし、DMを制作する際には、本書でご紹介したような**発送費用だけではなく、様々なコストがかかります。**

- ・企画、デザイン費用
- ・印刷費用
- ・封入やラベル貼り等の作業費用

費用対効果を高めるためには、**必要コストもきちんと考慮した戦略を取ることが重要**です。

弊社では、企画から発送まで、すべての作業をワンストップでお届けすることができます。特に発送コストについては、業界最安値の自信がございます。

DMの発送について、何かお悩みごとがございましたら、ぜひディーエムソリューションズにもお声がけいただければ、これ以上の幸せはありません。

あなたのお悩みを解決すべく、最大限ご支援させていただきます。

お問い合わせはこちらから ▶▶ <https://dm-watch.jp/contact/>

ディーエムソリューションズのご紹介

会 社 名	ディーエムソリューションズ株式会社
所 在 地	〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1丁目1番3号 クリスタルパークビル2F
設 立	平成16年9月15日
資 本 金	221,835,000円
従 業 員 数	322名(平成30年5月末現在)
事 業 内 容	【ダイレクトメール事業】郵送物企画・発送代行事業 【デジタルマーケティング事業】Webマーケティングのコンサルティング事業 【バーティカルメディア事業】バーティカルメディアの運営事業



契約継続率

95% 超



お取引実績

9,000 社 以上

